



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月10日

上場会社名 尾家産業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾家 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 田仲 勇一郎

TEL 06-6375-0151

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	48,589	2.6	552	13.8	581	10.7	253	△31.7
22年3月期第3四半期	47,375	△4.6	485	△35.1	525	△28.8	371	△6.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	27.39	—
22年3月期第3四半期	40.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	24,460	10,240	41.9	1,106.93
22年3月期	21,481	10,170	47.3	1,099.34

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 10,240百万円 22年3月期 10,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
23年3月期	—	9.00	—		
23年3月期(予想)				9.00	18.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	4.2	650	55.5	700	38.4	330	94.8	35.66

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	9,255,000株	22年3月期	9,255,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	3,503株	22年3月期	3,457株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	9,251,502株	22年3月期3Q	9,251,718株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(第3四半期累計期間)	7
(第3四半期会計期間)	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)におけるわが国経済は、急激な円高により輸出企業の業績悪化を招き、雇用情勢がさらに悪くなり、可処分所得の減少による消費マインドの冷え込みに加え、低価格志向が進むなど厳しい状況で推移しました。

当社の主要取引先であります外食産業界におきましても、節約志向が強まり外食離れから内食化が進みました。大手外食チェーンにおきましては、顧客囲い込みの為に、メニュー単価を著しく下げるといった厳しい経営状況が続いております。

このような経済環境の下、当社は長期的目標であります「いい会社作り」を目指し、4月より新中期3ヶ年経営計画「チャレンジ!!スマイルOne」を遂行中でございます。これは「一人ひとりの成長と幸福」「オンリーワン企業」「営業利益率1%」「ひとつになって(団結)」を意味します。また、当期の基本方針として「取組の強化」「方針の徹底」「行動力(考動力)のアップ」を掲げて、全社を挙げて計画達成に向けて取り組んでおります。

営業政策としましては、8月中旬より9月末にかけて全国15会場で秋冬提案会(テーマは美味楽菜)を開催しました。ヘルシーXメニューとして「海の恵みを使ったヘルシーメニュー」、その他、「今年もやってきました!!ふれあい鍋PARTII」、水産物取扱をアピールするために水産通り「おいえ屋」、年明けうどんの提案など多くのメニュー提案と業界一早い新商品の紹介及びシステム提案を行いました。来場されましたお客様にも高い評価を頂戴し導入の成果も上がっております。

また、11月から12月には、主要仕入れ先様のご協力を頂き恒例の第4回大感謝セールを実施し、お得意先様に日頃の御礼と利益還元をいたしました。

事業所政策としましては、物流品質の向上と労働環境改善の為に、10月に滋賀営業所を、そして11月に横浜営業所をそれぞれ新築移転し、全国49事業所(11支店・33営業所・2センター・3C&C(キャッシュ&キャリア))となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高485億89百万円(前年同期比2.6%増)、経常利益5億81百万円(同10.7%増)、四半期純利益2億53百万円(同31.7%減)と増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期末の総資産は244億60百万円となり、前事業年度末と比較して29億78百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金が4億61百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が21億37百万円増加したこと、たな卸資産が8億68百万円増加したこと、及び未収入金が6億11百万円減少したことによりです。

(負債)

負債は、142億19百万円となり、前事業年度末と比較して29億8百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が25億40百万円増加したことと資産除去債務が1億79百万円増加したことによりです。

(純資産)

純資産は102億40百万円となり前事業年度末と比較して70百万円増加いたしました。繰越利益剰余金が88百万円増加したことによりです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金および現金同等物(以下「資金」という)は34億74百万円

(前年同期比153.0%)となり、前事業年度末と比較して5億51百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の営業活動による資金収支は、3億81百万円の収入

(前年同四半期累計期間は59百万円の支出)となりました。これは、税引前四半期純利益が4億77百万円増加であったこと、売上債権の増加が21億37百万円であったこと、仕入債務の増加が25億40百万円であったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の投資活動による資金収支は、4億9百万円の収入

(前年同四半期累計期間は26億33百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が91百万円であったものの、収用補償金の受取による収入が5億45百万円であったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の財務活動による資金収支は、2億40百万円の支出

(前年同四半期累計期間は2億23百万円の支出)となりました。これは、配当金の支払が1億66百万円とリース債務の返済による支出が73百万円であったことが主たる要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ10,780千円減少しており、税引前四半期純利益は116,055千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は179,774千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,884,309	3,423,267
受取手形及び売掛金	8,874,917	6,737,802
有価証券	187,803	70,451
商品及び製品	2,579,801	1,710,859
繰延税金資産	78,822	130,351
未収入金	514,030	1,125,208
その他	41,572	28,057
貸倒引当金	△23,981	△15,536
流動資産合計	16,137,275	13,210,461
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,421,913	1,441,413
減価償却累計額	△503,444	△471,581
建物(純額)	918,469	969,831
建物附属設備	2,548,392	2,332,875
減価償却累計額	△1,448,262	△1,247,401
建物附属設備(純額)	1,100,129	1,085,474
構築物	140,868	141,937
減価償却累計額	△87,944	△81,996
構築物(純額)	52,923	59,940
機械及び装置	172,622	159,072
減価償却累計額	△109,498	△98,548
機械及び装置(純額)	63,124	60,524
車両運搬具	173,223	173,223
減価償却累計額	△71,834	△46,492
車両運搬具(純額)	101,389	126,730
工具、器具及び備品	615,822	535,989
減価償却累計額	△358,136	△305,796
工具、器具及び備品(純額)	257,685	230,193
土地	2,697,353	2,706,878
有形固定資産合計	5,191,073	5,239,572
無形固定資産		
ソフトウェア	85,281	84,848
ソフトウェア仮勘定	4,105	—
電話加入権	26,614	26,614
施設利用権	678	754
無形固定資産合計	116,680	112,217
投資その他の資産		
投資有価証券	538,574	615,526

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
差入保証金	1,418,165	1,263,881
会員権	40,304	51,740
保険積立金	30,960	115,571
長期預金	500,000	500,000
破産更生債権等	18,596	23,830
繰延税金資産	452,662	365,008
その他	59,311	42,149
貸倒引当金	△43,342	△58,044
投資その他の資産合計	3,015,233	2,919,664
固定資産合計	8,322,987	8,271,454
資産合計	24,460,263	21,481,915
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,889,586	8,349,481
リース債務	103,952	84,043
未払金	198,350	123,803
未払費用	805,182	806,049
未払法人税等	125,426	97,735
賞与引当金	123,000	230,000
資産除去債務	4,998	—
その他	141,416	21,534
流動負債合計	12,391,913	9,712,648
固定負債		
リース債務	257,214	256,803
退職給付引当金	1,014,632	945,321
役員退職慰労引当金	222,459	212,222
資産除去債務	174,775	—
その他	158,485	184,345
固定負債合計	1,827,566	1,598,692
負債合計	14,219,480	11,311,340

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金	1,233,690	1,233,690
資本準備金	1,233,690	1,233,690
利益剰余金	7,620,574	7,533,673
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金	7,466,443	7,379,542
特別償却準備金	13,559	15,186
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	2,852,883	2,764,355
自己株式	△2,771	△2,730
株主資本合計	10,157,193	10,070,333
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,589	100,241
評価・換算差額等合計	83,589	100,241
純資産合計	10,240,783	10,170,575
負債純資産合計	24,460,263	21,481,915

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	47,375,168	48,589,215
売上原価	39,466,155	40,606,977
商品期首たな卸高	1,638,157	1,710,859
当期商品仕入高	40,268,621	41,475,918
商品期末たな卸高	2,440,623	2,579,801
売上総利益	7,909,013	7,982,237
販売費及び一般管理費	7,423,579	7,429,788
営業利益	485,433	552,449
営業外収益		
受取利息	10,171	8,198
有価証券利息	1,074	889
受取配当金	7,318	7,758
受取賃貸料	25,458	23,659
雑収入	16,970	23,067
営業外収益合計	60,993	63,574
営業外費用		
支払利息	6,654	6,871
有価証券償還損	—	5,143
複合金融商品評価損	13,996	19,504
雑損失	247	2,705
営業外費用合計	20,899	34,223
経常利益	525,527	581,800
特別利益		
固定資産売却益	—	90
投資有価証券売却益	3,208	302
収用補償金	840,667	—
その他	—	17,053
特別利益合計	843,875	17,447
特別損失		
固定資産除却損	4,791	2,600
固定資産圧縮損	621,469	—
投資有価証券評価損	10,703	172
投資有価証券売却損	—	2,297
店舗閉鎖損失	30,847	—
減損損失	—	10,410
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	105,274
その他	975	659
特別損失合計	668,787	121,415
税引前四半期純利益	700,614	477,832
法人税、住民税及び事業税	276,579	248,629
法人税等調整額	52,832	△24,225
法人税等合計	329,412	224,403
四半期純利益	371,202	253,428

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	16,379,415	16,960,452
売上原価	13,634,658	14,174,112
商品期首たな卸高	1,834,279	1,832,274
当期商品仕入高	14,241,002	14,921,638
商品期末たな卸高	2,440,623	2,579,801
売上総利益	2,744,757	2,786,339
販売費及び一般管理費	2,537,646	2,547,685
営業利益	207,110	238,654
営業外収益		
受取利息	1,973	1,263
有価証券利息	402	146
受取配当金	1,652	1,233
複合金融商品評価益	—	25,152
受取賃貸料	8,336	7,998
雑収入	8,031	9,479
営業外収益合計	20,394	45,275
営業外費用		
支払利息	2,258	2,208
有価証券償還損	—	5,143
複合金融商品評価損	8,028	—
雑損失	0	91
営業外費用合計	10,287	7,443
経常利益	217,217	276,485
特別利益		
固定資産売却益	—	90
収用補償金	840,667	—
特別利益合計	840,667	90
特別損失		
固定資産除却損	4,606	2,514
固定資産圧縮損	621,469	—
投資有価証券売却損	—	2,297
店舗閉鎖損失	7,851	—
その他	970	—
特別損失合計	634,897	4,811
税引前四半期純利益	422,987	271,764
法人税、住民税及び事業税	126,441	91,389
法人税等調整額	56,549	27,234
法人税等合計	182,990	118,623
四半期純利益	239,996	153,140

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	700,614	477,832
減価償却費	230,733	313,416
減損損失	—	10,410
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,096	5,178
賞与引当金の増減額(△は減少)	△167,439	△107,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	76,369	69,311
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,028	10,237
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,200	—
受取利息及び受取配当金	△18,564	△16,847
支払利息	6,654	6,871
有価証券償還損益(△は益)	—	5,143
複合金融商品評価損益(△は益)	13,996	19,504
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△90
有形固定資産除却損	4,791	2,600
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,208	1,994
投資有価証券評価損益(△は益)	10,703	172
収用補償金	△840,667	—
固定資産圧縮損	621,469	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	105,274
売上債権の増減額(△は増加)	△1,572,727	△2,137,114
たな卸資産の増減額(△は増加)	△802,466	△868,941
その他の流動資産の増減額(△は増加)	46,197	51,465
差入保証金の増減額(△は増加)	△6,971	△7,052
破産更生債権等の増減額(△は増加)	15,345	5,234
仕入債務の増減額(△は減少)	1,902,988	2,540,104
未払金の増減額(△は減少)	40,767	34,846
未払消費税等の増減額(△は減少)	△101,916	—
未払費用の増減額(△は減少)	27,362	△8,291
その他の流動負債の増減額(△は減少)	68,324	117,408
その他の固定負債の増減額(△は減少)	26,211	△25,860
その他	15,986	△26,717
小計	303,481	579,091
利息及び配当金の受取額	18,373	17,563
利息の支払額	△6,654	△6,871
法人税等の支払額	△374,610	△207,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,409	381,912

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△1,010,000
定期預金の払戻による収入	—	1,000,000
有価証券の取得による支出	△100,000	—
有価証券の償還による収入	—	2,000
有形固定資産の取得による支出	△1,421,161	△91,311
有形固定資産の売却による収入	—	12,050
収用補償金の受取による収入	—	545,512
投資有価証券の取得による支出	△90,998	△957
投資有価証券の売却による収入	32,518	3,157
敷金及び保証金の差入による支出	△100,685	△216,214
敷金及び保証金の回収による収入	51,337	68,983
会員権の売却による収入	2,250	—
保険積立金の積立による支出	△5,803	△2,579
保険積立金の解約による収入	—	101,861
その他	△865	△2,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,633,409	409,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△262	△40
リース債務の返済による支出	△56,487	△73,928
配当金の支払額	△166,783	△166,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,532	△240,576
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,916,351	551,041
現金及び現金同等物の期首残高	5,187,357	2,923,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,271,006	3,474,309

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(開示書類の省略)

セグメント情報、その他の注記情報、個別情報、補足情報等は当第3四半期決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。